

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VOI.11 —

— ごあいさつ —

院長 きたむら みちひこ
北村 道彦



年度末で何かとお忙しい毎日と拝察いたします。

私事ですが、今年度をもって中部病院を退職することになりました。

思い返しますと、5年前の今頃は、開院に向け、引越し準備や電子カルテの稼働訓練などで、大わらわの毎日でした。紹介型の病院運営を既に決定し、できる限りの説明を重ねておりましたが、不安一杯でした。幸い、地域の医療機関の皆様や住民の皆様のご協力により、予想以上にスムーズにスタートを切ることができ、紹介率も一気に70%まで上がりました。2年目には地域周産期母子医療センター指定、DPC導入、地域医療支援病院指定と新しい取組みにも成果を上げることができました。平均在院日数は10日台で、全国的にみても短く、診療単価も急増しました。ご支援、ご協力頂いた地域の医療機関の皆様には改めて御礼申し上げます。

先日行われた地域医療研究会では、昨年度に引き続き地域連携に関するアンケート調査の結果を報告し、数字的には連携がよりスムーズに展開されていることがうかがわれ安堵いたしました。しかし自由記載を拝見すると、紹介後の返事がこない、内容が不十分など、まだ改善が必要であることが明らかです。連携室を挙げて対応に取り組んでまいります。連携は当院の命であります。これからもご意見を沢山お寄せ願います。

さて、一昨年来中部病院は、整理・整頓・清掃・清潔・しつけの5S運動を展開し、またチームSTEPPSと呼ぶチームで安全管理を向上させる日本内科学会お墨付きの活動を取り入れてきました。病院として外的な成長から内的な成熟をめざしたいと考えたからであります。地域に根ざした基幹病院への進化の道は平坦ではありませんが、中部病院はその歩みを続けてくれると信じております。これからも変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、頂いた沢山の御厚情に心から感謝して退職のご挨拶とさせていただきます。

平成25年度第2回 地域医療研究会 開催報告



平成 26 年 2 月 13 日(木)に今年度第 2 回目の地域医療研究会を開催いたしました。

一般演題は多数お申込みいただきましたが、お申し込み順に 4 題発表していただきました。

県立東和病院の小原久美子看護師による「在宅医療を支えるメディカルショートステイ」についてのお話、鈴木眼科吉小路の鈴木武敏先生からは「地域医療啓発としての学校文化祭」のお話、県立遠野病院の遠藤忠雄先生による「災害医療ロジスティックス研修に参加して」、花北病院の齊藤悦郎先生による「多様化したうつ病とその治療」についてそれぞれ発表していただきました。そして指定演題としまして、奥州市歯科医師会の朴澤弘康先生から「地区歯科医師会とケアマネ協議会の F A X による情報提供システム」についてお話していただきました。どの演題も大変興味深いお話でした。

最後に当院の北村院長より「地域連携への感謝と希望」～中部病院の 5 年間を振り返って～と題してお話しました。参加者の方から質問やお言葉を頂戴し、盛会に終えることができました。

院内外より 114 名とたくさんの方に参加いただきました。また来年度も開催予定ですので、ご参加をよろしく願いいたします。



『そ〜ら通信』は「太陽」・「エコ」・「青空」、そして「元気のいい掛け声」と、たくさんの意味がこめられた院長通信の名前です。

北村院長は山歩きが大好き。このコーナーでは、北村院長が山で出逢った花々を紹介いたします。



連携室の T.O 嬢の発案で開始した本シリーズは 9 回目になりました。今回は春を待つユキワリソウにしました。Vol. 8 で紹介した万寿山で出

会いました。文字通り雪解け直後に陽だまりの中で風に揺れながら可憐に咲いていました。白からピンクまでいろいろな色合いがあります。春を実感する花の一つです。今年も絶対会いに行きます。

アンケートのご協力ありがとうございました。

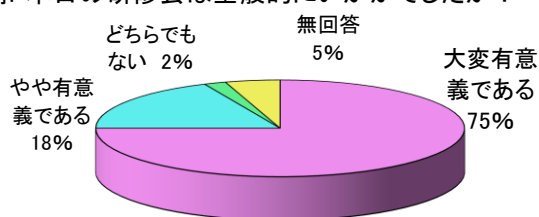
◇医科歯科研修会に多数の方に参加を頂きました(参加人数とアンケート集計結果)

【研修の内容と参加人数】

開催日	演題	講演者	計
7/11(木)	〈初級編〉 お口をみるポイント、よくあるお口の中のトラブル解決	歯科衛生士 赤坂 幾子	21
10/22 (火)	〈実技編〉 歯ブラシの優しい当て方、口の開け方、スポンジブラシの使い方等	歯科衛生士 赤坂 幾子	48
2/26 (水)	「身近な口腔の疾患について」	和賀歯科医院 院長 和賀 浩幸 先生	54
	「口腔ケアについて」	歯科衛生士 赤坂 幾子	
計			123

【アンケートの回答】(全3回の集計 サンプル数 104)

設問. 本日の研修会は全般的にいかがでしたか？



その他自由記載

- ・明日からのケアに生かしていけるような貴重なお話でした。
 - ・あらためて医科歯科連携の必要性を感じました。
 - ・どんどん(研修会を)やってほしいです。
 - ・実技も含めて、分かりやすかったです。
 - ・自分自身の歯磨き時にも活用したいと思います。
- ※たくさんのご意見をいただきました。

今後の研修会開催の参考にさせていただきます。

2月26日 開催の第3回研修会の様子



講師 和賀歯科医院 和賀浩幸先生



参加者の皆様の真剣なまなざし



質問も活発に出されました

地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇ 基本的に外来診療は予約制とさせていただいております。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。



薬薬連携研修会を開催しました



平成 26 年 2 月 5 日（水）に横浜市の東戸塚記念病院
薬局長の宮崎美子先生をお招きして薬薬連携研修会を開
催しました。タイトルは「地域医療連携での薬剤師の役
割～薬薬連携の基礎づくりで重要なこととは～」で、薬
薬連携の先進事例についてご講演頂きました。

当日は調剤薬局の薬剤師さんをはじめ多くの方々にお
集まりいただき、大変ありがとうございました。平成 26
年度においても研修会を開催する予定です。

☆認定看護師 紹介☆

当院には現在 9 名の認定看護師が在籍しています。各専門知識を
生かし院内外で活躍中の彼女達をシリーズで紹介していきます。



後列右から 3 人目が高橋文子看護師、
後列右から 2 人目が小笠原千恵看護師

〈認定職種〉 がん化学療法看護認定看護師

〈氏 名〉 高橋 文子

〈主な仕事の内容〉 安心してがん化学療法を受けられる
よう、患者さんご家族のサポートを行っています。
また、院内でのがん看護のレベルアップを目指して研
修も実施しています。

〈ひとこと〉 2011 年に資格を取得し、現在は外来化学
療法室に勤務しております。がん化学療法に関するこ
との質問はいつでもお受けしますので、お気軽にお声
をかけてください。

〈認定職種〉 摂食・嚥下障害看護認定看護師

〈氏 名〉 小笠原 千恵

〈主な仕事の内容〉 口から食べられなくなった患者さん
に嚥下機能評価、口腔ケア、嚥下訓練を実施し、安全
に食べられるよう支援しています。

〈ひとこと〉 口腔ケア、嚥下障害に関することで困っ
ている方、お気軽にご連絡ください。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室

〒024 - 8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197 - 71 - 1511 FAX0197 - 71 - 1881（地域連携室専用）

URL <http://www.chubu-hp.com/>（平成 26 年 3 月）

